

新宿区多文化共生連絡会

新宿多文化共生推進会議検討ワーキンググループ

会議要旨

日時 : 2011年9月26日(木) 午前10時から12時
会場 : 新宿区役所本庁舎3階 302会議室
参加者 : 名: 11名 小林普子(みんなのおうち)
山本重幸(共住懇)
金 朋央(コリア NGO センター)
丁 寧 (国際交流基金)
浅見美恵子(新宿海外女性研修者の会)
山本ゆみ(外国人総合相談支援センター相談員)
黒田幸子(大久保特別出張所所長)
月橋達夫(新宿区多文化共生担当副参事)
宮端啓介(しんじゅく多文化共生プラザ所長)
高橋直郁(公益財団法人新宿未来創造財団)

会議の概要

区:【配布資料に沿って事務局が説明】

主な発言要旨

A: 委員を公募するさいには、具体的にテーマを設定して募集したほうがよい。単に多文化共生推進に関心がある方という前提ではなく、例えば子どもの学習支援、防災問題など具体的テーマによって募集すれば、そうした問題に関心のある方の参加を促すことができる。

A: 推進会議の目的を、明確にすべきではないか。

A: 推進会議については、経験の蓄積が大事だと思う。運営する側は覚悟をもって行うべきだ。

A: 日本人と外国人が、地域で共に暮らすさいの課題を話し合うのであれば、日

本人委員の数を多くすることが必要では。

A：区民の定義は、自治基本条例の精神に沿って定めるべきだ。

A：以前の区民会議では、多文化共生を政策的に中項目以上に設定してほしいと委員が要望したが、かなわなかった。

A：このワーキング・グループに、いろいろな国籍の人の参加を促して議論すべきではないか。

A：新宿区長がメンバーに入ることにより、弊害となることは考えられないか。例えば、議論が行政によりコントロールされてしまうことはないのか。